



おおみなみ

『つどう・つながる・つむぐ』



令和8年度
練馬区立大泉南小学校
校長 皆川 伸一
令和8年4月28日
Tel.03-3922-1371

登校の風景から

校長 皆川 伸一

「気持ちのいい挨拶をする子どもたちだなあ。」

私の大泉南小学校の第一印象です。

始業式の日から、毎朝門に立って子供たちを迎えています。そこで交わされる「挨拶」には、実にさまざまな形があります。

少し遠くからでも、先に元気いっぱいの声を届けてくれる子。立ち止まって目を合わせて、折り目正しいお辞儀を返してくれる子。「荷物が重いよ!」「昨日は〇〇へ行ったんだ。」と、報告第一の子。会釈を返してくれる子。走り抜けながら次々とボリュームが上がっていく仲良しグループ。やわらかいハイタッチつきは1年生に多いでしょうか。恥ずかしそうに、ぼそっと、でも声を出しているのは分かります。どの挨拶も本当にうれしいものです。

学校の前を通るのは子供たちだけではありません。地域の方々、自転車の高校生、散歩中のワンちゃんたち。交わされる言葉は、朝の楽しみの一つです。

実は、私自身、小学生の頃は挨拶が少し苦手でした。先に大きな声で言われると気後れしてしまったり、勇気を出して挨拶をしても大人がむすっとして返してくれなかったりしたことが、心に残っていたからです。

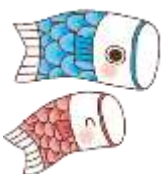
朝のスタートはできる限り気持ちよくしたい。その子の様子を見ながら、お互いが気持ちの良い挨拶になるように、心の通い合いを大切にしたいと考えています。

また、毎日立っていると、子供たちの「本物の優しさ」に触れる瞬間があります。例えば、道幅の狭い東門でも、先を争って入ろうとする子はほとんどいません。自転車やベビーカーで通りにくくなっても、嫌な顔一つせず、当たり前のように順番を待っているのです。それは「言われたから守る」のでも「先生が見ているから」でもなく、ごく自然な振る舞いとして根付いています。思わず「待ってくれてありがとう、ごめんね。」と声を掛けます。気持ちの良い空気が流れます。

誰かと出会い、心が触れ合い、そこから日々の物語が編まれていく。学校という場所が、そんな温かな場所でありたいと願っています。

「おはよう、今日もよく来たね。」

その一言から始まる一日を、これからも大切に重ねてまいります。



5月の生活目標

友達と力を合わせてがんばろう